

座・高円寺が地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞!

1月16日、一般財団法人地域創造から、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰する地域創造大賞を、杉並区立芸術会館「座・高円寺」(高円寺北2-1-2)が受賞しました。

「座・高円寺」は平成21年5月にオープンし、演劇や舞踊などの優れた舞台芸術の公演を始め、情報の発信と提供及びワークショップや講座など、芸術文化の振興を図るための各種の事業を実施しています。また、区民の方々などがさまざまな芸術文化活動や交流が行える場や機会を提供し、その活動を支援するとともに、55年の歴史を持つ「高円寺阿波おどり」の普及振興の役割も担っている劇場です。

座・高円寺では、オープンを契機に施設開館の1年前から、まちの人々を中心に「座・高円寺地域協議会」を立ち上げ、座・高円寺と高円寺のまちが共存共栄し、地域をいっそう魅力的にするために、高円寺4大まつり(春の高円寺びっくり大道芸、夏の高円寺阿波おどり、秋の高円寺フェス、冬の高円寺演芸まつり)をはじめとする様々な地域企画などについて知恵を出し合い取組みを進めてきました。

このように開館してから5年間、芸術監督の基本方針のもとで、行政と指定管理者が商店会や町会等の地域の団体と協力連携し、地域に根差した施設運営を行うことで、地域の活性化に継続的な効果を果たしてきました。

芸術監督の佐藤信さんは、杉並区在住で劇団「自由劇場」や「黒テント」の設立に関わった人物です。その佐藤監督を中心に、運営を行っているのが、NPO法人劇場創造ネットワークで、地元のNPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会と日本劇作家協会をパートナーに、年間を通して座・高円寺に人を呼び込むイベントを開催してきました。



劇場開設から5年、こうした地域に根ざした「まちの演劇広場」としての取り組みが大きく評価され、一般財団法人地域創造から「地域創造大賞(総務大臣賞)」を受賞しました。平成26年度は全国で9施設が対象となりました。

今回の受賞を受け佐藤信芸術監督は「劇場は「ある」ものではなく、「なる」ものです。言葉をかえれば、建物ではなく人なのです。今回、座・高円寺がいただいたご褒美を、開館以来、ともに劇場を劇場とするために協力して下さった高円寺地域の皆さまと、杉並区の大勢の子どもたちと一緒に喜びたいと思います。」とコメントしました。